



HOSEI 2020

オンライン授業ニュース

2020/4/17 vol.1

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 法政大学「2020 オンライン授業」の方針と考え方
- 3 オンライン授業の環境整備に向けたタイムライン

速報

4月21日(火曜)10時～

第1回 オンラインによる
オンライン授業講習会 開催

＜テーマ＞理工系実験科目のオンライン授業の準備

理工学部電気電子工学科の取り組みを、伊藤一之教授よりご紹介頂きます

(詳細は4ページ)

【本ニュース発行主体】

HOSEI2020 オンライン授業
支援特設チーム

(教学統括副学長のもとに
2020年度のオンライン授業
を支援する目的で設置)

【事務局】

総長室付教学企画室

はじめに

教育支援本部担当常務理事・副学長 廣瀬克哉

本学では HOSEI2030 のアクション・プランとして、授業の「オンライン化システム構築」を推進してきましたが、今学期、予期せず全学一斉実施を迫られた「オンライン授業」は、いわば「緊急事態」です。緊急事態のいま、最も優先すべきは、28000人の学生、3000人あまりの専任・兼任教員、17000近くの開講科目の「全てで一定の質を保証した授業」を学生たちに提供する準備です。

授業を全てオンラインで行うことは、法政大学の教員にとっても学生にとっても初めての経験であり、試行錯誤の中で進んでいくことは避けられないことです。しかし、その試行錯誤を学生と教員がともに経験していくことは、それ自体のなかに、大学らしい教育効果が幾ばくかは得られるものと信じます。

オンラインで教材を投げかけて単に学生に「独学」を求めて済ませるのではなく、また、教室での授業の劣化した代替物を学生に提供するのではなく、オンライン教育ならではの価値を何らかの形で獲得していくことを目指して、オンライン授業を展開していきたいと考えます。この時期の制約の下に置かれた学生たちの学びを、より深いものになるように導き、学生の主体的な取り組みを促し、その学びの成果を教員たちが確認しながら、学びの質を支えていく教育を目標において、さまざまな試行錯誤を展開していただければと願います。

法政大学「2020 オンライン授業」の方針と考え方

1. 大学の授業として単位を認定できる内容を確保すること

文部科学省がこれまで示してきたオンライン授業で単位認定が認められる条件を踏まえ、以下の2点を必ず行ってください。

- ① 課題提示の前後で教員からの指導や学生と教員との質疑応答の機会が確保されていること
- ② 単位制度が基礎としている「標準的な学習者が授業と授業外を含めて45時間の学習を要する学習内容を修めることで1単位」という基準に照らして、設定された単位数にみあった学習内容が確保されていること

この2項目が満たされていることが必須であり、講義を動画として流すことや、学生とのリアルタイムの双方向の討論の機会をもつことは必須ではありません。

2. 質疑応答の機会を設ける方法について

科目の特性や受講者数に応じた方法で、授業内容に関する実質的な双方向のコミュニケーションを提供してください。

演習やフィールドワークなど、比較的少人数で、双方向のやりとりそのものが授業の実質的な内容にあたる場合、下記8のオンラインビデオ会議システムをご利用ください。長時間に及ぶと通信データ容量が大きくなりますので、受講者の通信環境に応じて、短時間のビデオ会議と、文字による電子議事を組み合わせたり、一定時間以外は音声のみで行うなど、データ容量を抑えるための工夫をお願いします。

法政大学「2020 オンライン授業」の方針と考え方(つづき)

教室でリアクションペーパーを活用されていたような場合は、学習支援システムの課題機能を使ってリアクションペーパーの提出を求め、後日まとめてフィードバックすることで、質疑応答の機会とすることが可能です。受講者数の多い授業でも、比較的执行しやすい方法です。受講者数が比較的少ない授業では、学習支援システムの掲示板機能も適しています。

3. 授業開始日について

学生が科目選択をするために必要な情報など、関連情報・資料を最初に学習支援システムで発信する日を、授業開始日とします。4月21日から5月11日までの間で、柔軟に設定してください。

ただし、学生に授業開始日を把握できるよう、4月20日までに、各授業シラバスの「【授業の進め方と方法 / Method(s)】」の欄に「学習支援システムで授業が開始されるのは何日か」を記入してください。

4. 成績評価について

最初に情報資料を学習支援システムに配信する際（授業開始日）に、その段階で想定されている成績評価の方針を学生に周知してください。そして最終的には、春学期末までに、春学期の採点に必要な評価対象資料を集約してください。評価の尺度については、教室での授業と同様の10段階とするか、合否の2段階とするかは、科目を主管する学部等で今後協議いただく予定です。

5. 学習支援システムを基本的環境とする

学生に授業に関する情報を提供する基本的環境を学習支援システムとします。学習支援システムだけを用いた授業を運営することも可能ですし、教材の配信や、学生との質疑応答、ディスカッションなどに下記8のビデオ会議システムが利用できます。ただし、他のシステムを組み合わせる場合は、いつ、どれを使うかについて、必ず学習支援システムの当該授業のページで学生が把握できるようにしてください。

6. 動画、ビデオ会議システムの利用について

大容量ファイルの学生への配付システムと、ビデオ会議システムの利用環境が整うのは連休明けが見込まれています。それまでの期間、まずは履修学生の通信環境について、学習支援システムのアンケート機能などによって把握を進めていただき（その具体的な方法については20日中に別途お知らせします）ながら、受講者の通信環境に対応した教材等の容量、電子会議の所要時間などをご決定ください。その間、当面の間は授業において動画の使用は極力控え、文字情報を基本に、データ容量を要しない方法で始めてください。

7. 授業の回数、日程、長さなどについて

非同期型のオンライン授業の場合は、特定の曜日、時限に縛られず、週1回100分という単位で組み立てる必要もありません。学期全体を通して、所定の単位数にみあった学習内容を確保できるよう適宜組み立ていただければ構いません。

Zoomなどを使ったリアルタイムのオンライン双方向授業の場合は、他の授業との重複を防ぐため、時間割で定められた曜日、時刻に行ってください。

本ニュースがめざすこと

- ・大学の方針や考えを迅速にお伝えすること
- ・問いを共有し応えること
- ・支援の機会や環境について伝え共有すること
- ・参考になる実践を交流共有しあう場になること

発行期間はオンライン授業期間中とし、不定期刊行ですが、当面はできるだけ高頻度でお届けしていく予定です。

法政大学「2020 オンライン授業」の方針と考え方(つづき)

8. オンラインビデオ会議の推奨環境について

リアルタイムのオンライン双方向授業のため、Zoom と Cisco Webex を大学として提供していくシステムとして選定しました。これらを先生方個人で利用登録をしていただく必要はありません。ただし、契約、設定を完了して利用可能となるまでに若干の日数を要します。連休明けには利用可能となる予定です。すでに個人で無料アカウントなどを取得されている場合に、現在の設定やデータを移行できるかどうかは現在調整中です。詳細が確定次第ご案内します。

なお、教職員の会議用には、授業用とは区別して MS Teams を使用していくこととします。

9. 大容量ファイルの学生との共有の方法

Google Drive を推奨システムとします。従来から大学として契約済みでファイル容量無制限でお使いいただけますが、現時点では、学生とのファイル共有のためには、共有する学生一人一人を指定する必要があります。共有範囲を法政大学の学生全体として、学内限定でファイルを配付できるように設定変更を行います。作業完了は連休明け以降となる見込みです。完了次第ご案内します。

10. 授業における他者の著作物の使用について

教室での授業とは異なり、オンライン授業の場合には、現時点では著作物ごとに事前の許諾が必要です。補償金制度によって事前の許諾を不要とする改正著作権法の施行が4月28日と決まり、2020年度の補償金額が無償となりましたので、同日以降は教室での授業と同様の範囲で、事前の許諾なしにオンライン授業でも使用することが可能となります。オンライン授業の中で他者の著作物を使用される場合には、その部分の配信開始は4月28日以降にしてください。

11. 教室授業の再開について

「緊急事態宣言」が解除されるなどの段階に至った際には、感染状況を勘案しながら、感染リスクが相対的に小さく、対面での実施の必要性が高い授業から段階的に教室授業を再開していくことを想定しています。

12. 2020年度の責任授業コマについて

2020年度に限り、教室授業の代替として実施するオンライン授業については、すべて責任授業コマ数にカウントすることとしました。

本ニュースの次号は4月20日(月曜日)に発行予定です。FAQを中心にお伝えします。その際あわせて、学習支援システムを用いた簡便な受講生の通信環境調査のひな型をお知らせします。

オンライン授業の環境整備に向けたタイムライン

4月20日(月曜日) 教員・学生向けガイド資料の配信予定

- 【教員向け】「学習支援システム」超かんたんガイド
学習支援システムの使い方に不慣れで戸惑いがある教員向け
同システムを用いた簡便な受講生の通信環境アンケートひな型も
お知らせします。
その後「学習支援システムを使った授業ガイド・事例」も配信予定
- 【学生向け】「オンライン授業 Q&A (その1)」

4月21日(火曜日) 教科書の購入サイト公開、もしくは販売開始(法政大学生協)

https://www.univcoop.jp/hosei/order/order_66.html

4月21日(火曜日)～ オンラインによるオンライン授業講習・交流会の開催

★速報★ 4月21日午前10時～「第1回オンライン授業講習会」開催します

—理工系実験科目のオンライン授業の準備事例—

理工学部電気電子工学科の取り組みを、伊藤一之教授よりご紹介頂きます。

1. シミュレーションで代替する方法
2. 動画で代替する方法
3. 写真で代替する方法 3種類の方法のご紹介です。

講習会は Zoom にて開催。接続先は 20 日発行ニュースでお知らせします。

2 回目以降 外国語教育科目のオンライン授業の準備事例・交流 等順次開催予定

4月28日(月曜日) 授業目的公衆送信補償金制度の施行

個別の許諾を要することなくより円滑に著作物を利用できることとなります。

許諾が必要な資料の学習支援システムへの配信は、この日以降にお願いします。

GW 連休中 ネットワーク推奨環境のインフラ整備予定

オンライン双方向授業のために大学として提供していくシステムとして、Zoom と Cisco Webex を選定しました。これらを先生方個人で利用登録をしていただく必要はありません。ただし、契約、設定を完了して利用可能となるのは連休明けになる予定です。すでに個人で無料アカウントなどを取得されている場合に、現在の設定やデータを移行できるかどうかは現在調整中です。詳細が確定次第ご案内します。

教職員の会議用には、授業用とは区別して MS Teams を使用していきます。

GW 連休明け

- ・ 大学生協より、各学生へ教科書の送付予定
- ・ 大容量ファイルのドライブ環境整備予定

Google Drive を推奨システムとします。従来から大学として契約済みでファイル容量無制限で使用可能ですが、現時点では、学生とのファイル共有のためには、学生一人一人を指定する必要があります。共有範囲を法政大学の学生全体として、学内限定でファイルを配付できるように設定変更を行います。この作業完了は連休明けとなる見込みです。完了次第ご案内します。